

アイ・アイ・エム

## 高速かつ容易にバックアップ/ストレージ統合を実現する Overland Storage 社の「REO シリーズ」

### バックアップシステムの課題を解決する「REO シリーズ」

昨今、コンプライアンス（法令順守）やセキュリティへの適切な対応などが求められている中で、企業の貴重な資産である情報（データ）を管理するバックアップシステムの重要性が注目されている。しかし、これまで事業所単位でバックアップを行ってきた企業では、「テープ装置の台数が多いためテープ交換等の管理が難しい」、「データ容量が増加し、複数本のテープが必要なサーバもある」、「サーバごとにバックアップソフトの設定が必要」、「バックアップリソースの利用効率が悪い」といった問題点が生じている。このような問題を解決するには、バックアップの自動化／集中化／一元管理、作業負担や管理コストの削減、信頼性の向上が必要である。

テープライブラリ装置のリーディングプロバイダーである米国の Overland Storage 社は、企業のバックアップシステムを取り巻く問題を解決する製品として「REO シリーズ」を提供している。REO シリーズは、データのバックアップ／リストアの高速化、一元管理（Webブラウザ管理画面）により運用／メンテナンス



REO4000

費用の削減、iSCSI と FC（Fibre Channel）接続の両方をサポートして既存の SAN 環境への統合を容易にしたディスクベースバックアップ & リカバリ装置である。

### デバイス共用を LAN 環境で実現

REO シリーズは、現在、ラックマウント数別に 3 タイプ（REO9000、REO4000、REO1000）あり、ともに次のような特長を持っている。

- ・大容量バックアップが可能：SATA HDD を使用して大容量バックアップアプリケーションに対応。

- ・デバイス共用を LAN で実現：最大 64 の仮想デバイス（仮想 LUN）を作成し、LTO-2 ドライブ（仮想テープドライブ）または仮想テープライブラリ、ネイティブディスクエリアとして使用できるので、これまで FC-SAN 環境でしか実現できなかったデバイス共用を LAN で実現（FC モデルは REO9000/4000 で対

応）できる（図 1 参照）。

- ・ストレージ効率を増大：各ドライブの容量を各サーバのバックアップサイズに合わせて自動的に変動するダイナミックバーチャルテープ機能により、管理負担の軽減とバックアップ資源の最適化を実現。

この他、オプションとして、複数の REO 同士での「遠隔レプリケーション」や、REO からテープへの「自動コピー」といった災害対策やデータの長期保管に効果的な機能も用意されている。

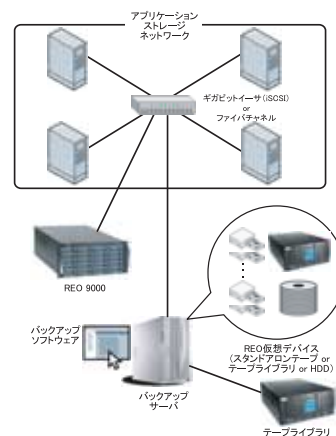


図 1 バックアップ構成例

お問い合わせ先  
 株式会社アイ・アイ・エム  
 システムソリューション事業部  
 TEL：03-5684-6771（代）  
 E-mail：ssdsales@backupsolution.jp  
 URL：http://www.backupsolution.jp/